

第2学年 生活科学習指導案

日時 平成17年 9月16日(金)6校時

児童 男子8名 女子4名 計12名

指導者 鎌田 真貴子

場所 2年教室

1 単元名 かいこさんとなかよし

2 単元について

本単元は、生活科の内容(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」に重点をおいて設定したものである。本単元では、かいこの飼育をとおして、生き物に対するいとおしさや命の大切さを感じとらせ、まゆ細工作りを行わせ、自然を利用した遊びを楽しませたいと考えた。かいこを取り上げたのは、短期間で成長の様子を観察することができる生き物であること、また、そのまゆが、かつては内川目地区の産業を支えた貴重な生き物でもあるという理由からである。

児童は、1学期の単元「内川目たんていだんしゅつどう！パート1」での学習活動で、春の探検に出かけ、学校や学校周辺でたくさんの動植物を見付けることができた。そして、そのときに見付け、興味をもったおたまじゃくしやコオイムシなどの小さな生き物たちを観察したり、飼育したりする活動を行った。実際に観察し、日々の成長を見ることにより、児童は飼育の面白さや生き物の体の特徴に気付くことができた。また、観察から生まれた疑問を自分で図鑑で調べ、疑問を解決した喜びを味わった。児童は、このような活動をとおして、少しずつ自分の身の回りにいる生き物の飼育に興味や関心をもち始めている。

そこで、本単元では、まずは、かいこを実際に飼っている方の家に出かけ、見学をし、飼育したいという思いをもたせ、学級で飼育活動を行って観察する活動を行う。そして、十分にかいこにふれあわせ、かいこの様子について気付いたり、分からないことは調べたり、まゆ細工作りを行ったりする活動をさせていきたい。そして、かいこの飼育をとおして気付いたり、発見したりした喜びをまとめの発表として行わせたいと考える。仮説1にかかわる発表として、中間発表会を設定し、お互いの発表を聞き合い、よさを見付け、児童が自信をもって、まとめの発表をできるようにさせていきたい。仮説2にかかわる発表では、かいこのことでお世話になった地域の方に知らせるという単元のまとめの発表を行わせたいと考える。その発表では、お世話になった方という相手がいることを意識させ、発表のしかたを工夫させたい。また、この単元の活動をとおして、生き物と接する楽しさを味わわせ、他の生き物とのかかわりへと広げ、学校周辺の自然や生き物に親しむことができる子どもを育てていきたい。

3 単元のねらい

【関心・意欲・態度】

- ・かいこを育てる活動をとおして、生き物に親しみ、進んでそれらとかかわろうとする。

【思考・表現】

<課題解決の力>

- ・かいこの飼育をとおして見つけた疑問を図鑑で調べたり、インタビューをしたりして、解決することができる。

<表現する力>

- ・かいこについて調べたり、観察したりして、分かったことや考えたことを自分なりの方法で身近な人に伝えることができる。

【気付き】

<気づく力>

- ・かいこの飼育を継続することにより、それらが生命をもっていることや成長していることに気付く。
- ・自分や友だちの発表のよさに気付く。

4 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
関心・意欲・態度	かいこを飼ってみたいという意欲をもつことができる。 かいこを見たり触ったりして慣れ親しむとともに、その生命を大切にしようとし、まゆが出来上がる期待をもって大切に育てようとする。
思考・表現 <課題解決する力>	かいこの飼育方法について調べ、飼育計画を立てることができる。 かいこの飼育をとおして見つけた疑問を図鑑で調べたり、インタビューをしたりして、解決することができる。
<表現する力>	かいこを見たり触ったりして気付いたことを記録することができる。 自分たちが育てて得たまゆを使って、自分の思いを生かし、楽しく物作りをすることができる。 かいこの飼育をとおして、経験したこと、気付いたこと、思ったことを自分なりの方法で表現し、友だちやお世話になった方に知らせることができる。
気付き <気づく力>	飼育をする中で、かいこの成長に気付く。 発表会をする中で、友だちや自分の、がんばりやよいところに気付く。 かいこの飼育を継続することにより、それらが生命をもっていることや成長していることに気付く。

5 単元活動計画 (計29時間)

[]は時数

段階	時	ねらい・学習活動・内容	評価
出 会 う	(4)	<p>かいこについて知り、飼ってみたいという意欲をもつことができる。</p> <p>(1)かいこってなあに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かいこについて知っていることを発表しあう。〔1〕 ・地域の方の家のかいこを見せていただく。〔2〕 ・地域の方から、かいこについて教えていただく。〔1〕 	<関 - >
か か わ る	(13)	<p>かいこの飼育の仕方について調べ、世話をすることができる。</p> <p>(1)かいこを飼おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いただいたかいこを観察する。〔1〕 ・かいこに適したすみかや飼い方について調べる。〔1〕 ・かいこのすみかを作ったり、えさを探しに行ったりする。〔2〕 ・かいこの成長の様子を観察する。〔4〕 ・かいこの観察記録を発表し合う。〔2〕 <p>自分たちが育てて得たまゆを使って、自分の思いを生かして、楽しく物作りをすることができる。</p> <p>(2)まゆ細工を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーに教わりながら、まゆ細工作りを行う。〔2〕 ・お礼の手紙を書く。〔1〕 	<表 - > <課 - > <関 - > <気 - > <課 - > <表 - >
ま と め る	(12)	<p>かいこの飼育をとおして、経験したこと、気付いたこと、思ったことを自分なりの方法で表現し、友だちやお世話になった方に知らせることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1)中間発表会を開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する内容と方法を決め、準備をする。〔5〕 ・中間発表会を開く。〔1〕 本時 ・友だちからの意見をもとに練習する。〔1〕 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(2)かいこのことを知らせよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会を開き、お世話になった方に知らせる。〔1〕 ・お世話になった方々へ、感謝の気持ちを表す方法を考え、感謝の気持ちを表す。〔3〕 ・単元の学習を振り返る。〔1〕 </div>	<表 - > <気 - > <気 - >

「注」 はねらい、()は学習活動、・は内容、ゴシック体の部分は学団の重点目標を示す。

6 本時の学習

(1) 仮説とのかかわり

本時は仮説1にかかわって、自分が観察したり、調べたりしたことをまとめて発表する中間発表会の場面である。単元のまとめの発表では、自分たちがお世話になった方を招いて発表を行うため、その方に自分たちの学んだことが伝わるように発表させていきたい。そこで、中間発表会では、どのようなことに気を付けて発表したらよいか、また、どのようなことに気を付けて友だちの発表を聞いたらいいかという視点を示していきたい。発表するときには、自分の発見を伝えたいという思いをもたせ、しっかりと発表させるためにシナリオを用意したいと考える。聞くときには、友だちの発表のよさを見付けるようにさせたいと考える。また、発表に使用した資料を掲示して残すようにし、発表のよさを見付け、意見を言いやすいような環境を作りたいと考える。

(2) 学習のねらい

- ・自分が観察したり、調べたりしたかいこの様子を伝えようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・グループごとに練習したことを発表することができる。(思考・表現)
- ・友だちの発表のよさに気付くことができる。(気付き)

(3) 学習の達成目標

- ・発表の中の自分の分担が分かり、練習したことを発表しようとしている。
- ・自分の発見をゆっくり、はっきりとした声でみんなに伝えることができる。
- ・友だちの発表を聞いて、分かったことや発表の仕方工夫されているところに気付くことができる。

(4) 本時の展開

(・は活動のねらい、*は教師の支援、 は評価を示す。)

段階	学習活動の流れ	ねらい・支援・評価
導入 5分	1 学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">めあて みんなにじぶんのはっけんした かいこさんのひみつを教えよう。</div> 2 発表する視点、発表を聞く視点を確認する。	・本時のねらいをつかませる。 *本時の流れを知らせるとともに、発表するときはゆっくり、はっきりとした声で、シナリオの流れに沿って自分の発見を発表し、聞くときは、友だちの発表のよいところを見付けながら聞くことを確認し、活動への見通しをもたせる。 めあてを全員で大きな声ではっきりと読むことができたか。
展開 35分	3 グループごとに発表を行う。1グループごとによい点や改善点を出し合う。 (1)かいこの成長 (2)かいこの生活 (3)かいこ蛾 (4)まゆ・まゆ細工	・練習したことを生かして、ゆっくり、はっきりとした声で、自分の発見を発表させる。 ・友だちの発表のよいところを見付けることができるようにさせる。 *緊張してうまく表現できない児童には、友だち同士で助け合うように助言したり教師が手伝ったりする。発表した資料は掲示物として残していく。 グループごとに発見したことを発表することができたか。 友だちの発表を聞いて、発表の仕方工夫されているところに気付くことができたか。
終末 5分	4 まとめをする。 (1)めあてを達成できたか、確認する。 (2)次時は、友だちからの意見をもとに練習することを知る。	・発表のよさや感想を出し合い、次の活動への意欲を高めさせる。 *よかった点や感想が出ない場合には、教師が感想を話す。 本時を振り返り、感想をもつことができたか。